

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

リネン工場におけるボイラーの更新
(A 重油→都市ガス)

排出削減事業者名：コーベベビー株式会社

排出削減事業共同実施者名：丸紅株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	コーベベビー株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	東海工場
住所	〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町 13-5
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	丸紅株式会社

その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

リネン工場におけるボイラーの更新（A 重油→都市ガス）

2.2 排出削減事業の目的

工場で使用しているボイラーを高効率の機種へ更新することにより、二酸化炭素排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

これまで使用していたA重油ボイラーを高効率の都市ガスボイラーに更新することにより、エネルギーの使用の合理化を進め、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012年12月2日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2018年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量、原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは工場内のボイラー（更新前1台、更新後3台）およびその蒸気が供給される機器である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後の燃料使用量	千 N m ³	2013年度：450.1 2014年度：433.6 2015年度：443.1 2016年度：440.1 2017年度：387.1	燃料会社からの請求書を保管、標準状態に換算して集計。	変更なし
$HV_{fuel,Pj}$	都市ガスの単位発熱量	GJ/ 千 m ³ N	2013年度：44.0 2014年度：46.4 2015年度：46.0 2016年度：45.0 2017年度：45.0	デフォルト値	変更なし
ϵ_{Pj}	事業実施後のボイラーのエネルギー消費効率	%	88.2	カタログ値（高位発熱量時）	変更なし
ϵ_{BL}	事業実施前のボイラーのエネルギー消費効率	%	83.6	カタログ値（高位発熱量時）	変更なし
$CF_{fuel, BL}$	事業実施前の燃料（A重油）の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	2013年度 ～2017年度：0.0708	デフォルト値	変更なし
$CF_{fuel, Pj}$	事業実施後の燃料（都市ガス）の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	2013年度～ ～2017年度：0.0513	デフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	450.1	44	0.0513	1,016.0
2014 年度	433.6	46.4	0.0513	1,032.2
2015 年度	443.1	46	0.0513	1,045.6
2016 年度	440.1	45	0.0513	1,016.1
2017 年度	387.1	45	0.0513	893.7
単位	千 N m3	GJ/千 Nm3	tCO2/GJ	tCO2
EM _{PJ}				5,003.6

6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	20,895.1	—	0.0708	1,479.4
2014 年度	21,228.2	—	0.0708	1,503.0
2015 年度	21,504.2	—	0.0708	1,522.5
2016 年度	20,896.5	—	0.0708	1,479.5
2017 年度	18,380.2	—	0.0708	1,301.3
単位	GJ	—	tCO2/GJ	tCO2
EM _{BL}				7,285.7

6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
2017 年度	0			0
LE				0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	7,285.7
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	5,003.6
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	2,282

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライ ンー実績 (①ー②)
2,654.9	2,516.5	138.5

省エネルギー量 (原油換算) = 138.5 kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律 (省エネ法) 施行規則第 4 条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

モニタリング期間（ 年 月 日 ～ 年 月 日）		
エネルギー使用量 （実績）	熱量換算（GJ） （実績）	原油換算(kl) （実績）
0	0	0